



JForest 熊本県森林組合連合会

森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

第187号

令和4年1月発行

発行所
熊本県森林組合連合会

〒861-8041
熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL (096) 285-8688
FAX (096) 285-8651
発行人 前川 收
<http://www.kumamori.or.jp>

謹賀新年




『壬寅(みずのえ・とら)』

干支は十干(じっかん)と十二支の組み合わせでできている。十干は、「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」10種類あり、十二支は12種類、この二つを組み合わせていき、今年は壬寅となる。

壬は、十干の9番目と終りに近いため、次の生命を育む準備の時期である。寅は十二支の3番目で、初めの位置に近く誕生を表している。

春の胎動が大きく花開くためには、地道に自分磨きを行い、実力を養う必要があるといったことを指し示している。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

委員 長	前川	他 職 員 一 同	熊 本 県 林 業 政 治 連 盟	監	代 表 監 事	"	"	"	"	"	"	理	専 代 表 理 事	理 副 会 長	会 代 表 理 事	熊 本 県 森 林 組 合 連 合 会
				事	堀	大	味	桑	西	坂	河	平	三	池	前	
他 役 職 員 一 同	前 川	同	同	荒	西	堀	大	味	桑	西	坂	河	平	三	池	前
				平	島	川	岩	岡	畑	坂	田	津	井	原	田	川
				文	泰	精	和	達	栄	鉄	宗	光	義	和	收	
				昇	朗	注	一	國	美	樹	太	範	臣	之	貴	



熊本県森林組合連合会
代表理事長

前川 収

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに、新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

我が国で猛威を振った新型コロナ感染症も、コロナワクチン接種等の関係者の努力により落ち着きを見せ、停滞していた生活も日常に戻りつつあります。しかしながら、第6波の到来を懸念する声もあり、引き続き感染防止の徹底が求められています。

さて、昨年を振り返りますと、米国や中国におけるコロナ禍からの景気回復に伴う、旺盛な木材需要により輸入木材が高騰し、その代替としての国産材価格も上昇しました。現在では、価格が落ち着きを見せていますが、しばらくはこの状況が続くものと考えられています。

また、国において「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、二酸化炭素削減に向けた取り組みとして、間伐や主伐・再造林等の森林整備による吸収源対策が求められています。加えて、「公共建築物等木材利用促進法」が改正され、「脱炭素社会の実現に資するための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」として、対象をこれまでの公共建築物から民間建築物にまで拡大し、更なる木材の利用促進により、脱炭素に向けて取り組むこととされています。

我々森林組合系統は、このような流れを好循環とするため、地域の森林整備の担い手として森林整備や木材生産等の取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

さらに本年は、新たな森林管理システムや森林環境

譲与税がスタートして4年目となり、配分額も増加されることとなっております。市町村による意向調査が進みつつありますが、今後は森林整備等の具体的な取り組みが求められています。地域林業の活性化を図るためには、実態を把握している森林組合系統による市町村への働き掛けや、事業提案が必要と考えていますので、皆様の協力をお願いします。

次に林業担い手についてですが、現場の作業技術を適正に評価し賃金へ反映するための、技能検定制度への林業部門の追加については、かねてから国へ要望活動を行ってきました。その結果、試行的運用試験がスタートし2月には熊本県においても運用試験が行われることとなっております。この技能検定制度は、全国一律の試験実施が必要であることから、早期に技能検定制度（国家検定）が行われるよう、引き続き国に働きかけて参ります。

また、昨年も県内で多くの林業労働災害が発生し、死亡事故も発生しました。林業は、他産業に比べ労働災害発生率が高く、少しのミスで尊い命が失われる大きな災害に繋がります。ひとたび労働災害が発生すると、本人はもとより、家族や職場、同僚に大きな影響を与えることとなります。

林業労働災害防止対策は、役職員が一体となって取り組むことが大切であり、各々の立場で注意喚起を行って、事故が発生しない職場づくりをお願いします。

最後になりましたが、本年が皆様とご家族にとって豊かで実り多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶と致します。



熊本県農林水産部
部長 竹内信義

会員並びに森林組合の組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃から、本県の森林・林業施策の推進に当たりまして、格段のご支援とご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

また、昨年11月をもって、連合会が設立80周年の節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、令和2年7月豪雨からの一日も早い復旧と創造的復興に引き続き取り組む中で、4月の改正森林組合法の施行、コロナ禍における海上輸送等の増加や米国・中国の旺盛な木材需要等による「ウッドショック」、そして、10月には、脱炭素社会の実現のための民間も含めた建築物への木材利用促進に関する法改正が行われるなど、予測することが難しい自然災害等への備えや将来の地域林業の発展に繋がる期待が高まった年でありました。

県では、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興では、「地域一体となった緑の流域治水」を目指し、流域全体の総合力で安全・安心を実現するため、治山や森林整備などの事業を通じた、山の再生・強化に取り組んでいます。また、「ウッドショック」への

対応では、木材業界、住宅建築業界の正確な情報の把握と共有を行い、混乱の最小化に努めるとともに、関係者が連携した木材供給体制の強化に取り組んでいます。

一方、昨年11月には、COP26の首脳級会合が開催されるなど、カーボン・ニュートラルは国際的にも最重要課題となっています。この課題解決に向け、森林による二酸化炭素吸収に対する期待は大きく、今後、脱炭素社会の実現への動きが加速していく状況にあり、今、まさに、森林・林業・木材産業への追い風が吹いているところです。

今年は、この追い風を背景に、多様で健全な災害に強い森林づくりを図るため、伐採後には再生林を通じて森林の若返りを進めるなどし、「伐って、使って、植えて、育てる」の循環利用サイクルの確立に向け、取り組んで参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう、併せて、益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



農林中央金庫 福岡支店
九州営業統括部長 岩井誠二



謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、旧年中は弊庫の業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が継続し、緊急事態宣言下の劇的な状況の中、東京五輪・パラリンピックが開催される一方で、経済活動については停滞した一年となりました。

本年も、依然として各国とも新型コロナウイルスの感染終息には至らず、コロナ前の水準に戻るまでには相応の期間を要すると考えられます。引き続き感染防止に努めつつ、一日も早い感染収束を願っております。

林業分野におきましては、米国や中国における住宅ローンの低金利政策等による住宅需要の増加、コンテナ不足による世界的な流通の圧迫などを理由に、輸入材が高騰し、いわゆる「ウッドショック」が起きました。輸入材の代替として国産材が使われ、国産材価格も上昇したことは良い結果であると認識をしつつも、今

後の木材価格動向には注視していく必要があると考えています。また労働力不足や、伐採後の再生林・下刈りにかかるコスト等の課題に対しては、粘り強く取り組む必要があると認識しております。

弊庫では、森林組合系統の皆さまに、金融面のみならず、非金融面のサポートも実施しております。労働安全装備品等の購入に際し助成をする「労働安全性向上対策事業」、民有林再生を支援する「農中森力基金」、持続可能な森林経営実現に向けて立ち上げた「低コスト再生林プロジェクト」等についても引き続き取り組んで参ります。また、脱炭素化社会の実現に向けた社会の関心の高まりを踏まえ、国産材の利用・木製品利用拡大を後押しする「国産材利用拡大活動」を通じて、木材利用のニーズがある行政・企業等との橋渡しを行って参ります。今後とも、森林組合系統の発展に向けて取り組んで参りますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

全国森林組合連合会
代表理事会長 **中崎和久**



令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして特段のご高配を賜り、厚く御礼申

上げます。

さて、一昨年来猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の進展をはじめ感染防止対策が講じられておりますが、引き続き慎重な対応が求められております。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、医療関係者のご尽力に敬意を表します。

また、コロナ禍で混迷する経済情勢や世界的な木材需給の変動など、森林組合系統の経営環境にも大きな影響が生じているところですが、事業活動継続にご支援、ご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、森林・林業を取り巻く情勢は、昨年6月に新たな「森林・林業基本計画」が閣議決定され、森林・林業・木材産業のグリーン成長と2050年のカーボンニュートラル達成を踏まえた豊かな社会経済の実現を目指す方針が示されました。

また、「公共建築物等木材利用促進法」が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」へ改正され、木材利用の促進対象が公共建築物から民間建築物へと拡大されています。

こうした諸施策が講じられ、森林環境譲与税の活用や森林経営管理制度が推進される一方、林業の成長産業化の実現に向けては、生産基盤である路網整備の推進やスマート林業の導入等が必要であり、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の確保・定着も進めていかなければなりません。

また、昨年4月に施行された改正森林組合法では、組合間の多様な連携や正組合員資格の拡大、事業執行体制の強化等が措置されており、新たな仕組みを活用しながら経営基盤の強化を図ることとしています。

これに対し、森林組合系統は、昨年10月28日に、第29回全国森林組合大会を開催し、新森林組合系統運動「JForestビジョン2030」を決議いたしました。

本運動では、地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向け、組合員サービスの向上、働く人の所得向上と就業環境改善、事業拡大と効率化による経営の安定を目指すこととしており、この達成に向け、① 都道府県・市町村と連携した地域森林管理体制の確立、② 循環型林業の確立と系統の木材販売力の強化、③ 高度人材の確保・育成、④ 協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立、⑤ 国民生活及びSDGsへの貢献を加速させて参ります。

協同の力による積極的な運動推進により、国民、組合員の期待に応える組織体制を構築する所存であり、引き続き森林組合系統へのご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が一刻も早く終息し、本年が皆様にとり幸多き一年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

**いつ襲って来るかもしれない
「もしも」のために
森林保険へ加入しましょう！**

台風、山火事などの災害による
森林の損害に備え、
森林保険にご加入ください。



森林保険
イメージキャラクター
マモルくん

お申し込みは…

JForest

熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL 096-285-8688

SDGsとは…

持続可能な開発目標SDGsとは、「Sustainable Development Goals」(サステナブル デベロップメント ゴールズ) を略してSDGs (エス・ディー・ジーズ) と呼ばれ、2015年9月に開催された国連サミットで、全加盟国193ヶ国合意のもと、掲げられた「持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。

「誰一人置き去りにしない」ことを理念に、2030年までに17のゴール(長期目標)と169のターゲット(中短期目標)で構成され、多様性と包摂性のある社会を実現するため、世界各国、日本各地で、達成に向けた取り組みが広がっています。



第1期 熊本県SDGs登録事業者

熊本県内の企業や団体等が、自らの活動とSDGsとの関連性を認識し、SDGsの達成に向けた具体的な取り組みを推進することにより、SDGsの普及を促進することを目的とした「熊本県SDGs登録制度」が創設され、第1期登録事業者が公表されました。

登録事業者は、新たな価値の創造を促し、その取り組みの「見える化」による地域の自律的好循環の形成につなげることで、熊本の特性を生かした持続可能な社会と、SDGsを原動力とした地方創生の実現を目指します。

＝森林組合系統の第1期登録事業者は以下のとおりです。＝

- ・菊池森林組合・阿蘇森林組合・八代森林組合・水俣芦北森林組合
- ・上球磨森林組合・相良村森林組合
- ・球磨村森林組合・天草地域森林組合・熊本県森林組合連合会



『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=



熊本県人権啓発
マスコットキャラクター
「ココロ」



「人権」とは

人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。

「人権問題の解決」のためには

私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような身元調査が条例で規制されています。」

各種研修会の開催

当連合会では、会員の皆様のご要望を取り入れつつ、職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施いたしました。

中堅者向けのスキルアップ研修

開催日：令和3年9月29日(水)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合中堅職員

講師：株式会社ピースマネジメント

江越卓真 代表取締役

内容：3人一組になり、「コーチング」の練習をし、「ティーチング」「フィードバック」を組み合わせることでコミュニケーションをすることを体験した。経営改善にも相互理解、相互尊重のコミュニケーションが大事であり、風通しの良い職場環境に努めることが必要であることを再認識した。



管理者向けスキルアップ研修

開催日：令和3年9月30日(木)

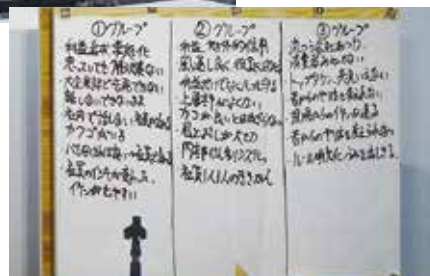
開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合管理者(参事、参事級)

講師：株式会社ピースマネジメント

江越卓真 代表取締役

内容：内部統制強化に向けた組織づくり研修を実施した。コンプライアンス違反で話題になった過去の事例から、テーマを絞ってグループ討議を行い、さらに問題点などを洗い出し、適切な管理を実施するためのノウハウを学習した。また、「良い会社」を上げるための業務管理の成功要件について学び、特に内部統制上の問題として、透明性の高い組織形態であること、仕事の流れを1名に固定化せず、数名のチェックが掛けられていることの大切さを学習した。



インバスケ研修

開催日：令和3年10月11日(月)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合中堅職員(課長・係長級)

講師：株式会社インバスケ研究所

橋本亮一 認定トレーナー

内容：インバスケは、ランダムにある20個の案件をその役職になったつもりで、限られた時間内に処理することで自己能力の発揮具合を観察する研修である。

リーダーとして発揮すべき職務遂行能力を見つめなおし、自分自身の強みや弱みなどを知ることにより、今後の業務でマネジメントに必要な能力を見出すきっかけづくりになった。



森林組合監事研修

開催日：令和3年10月25日(月)

開催場所：グランメッセ熊本 2F 大会議室

対象者：森林組合監事

講師：午前の部：農林中央金庫福岡支店
戸田 桂一郎 部長
午後の部：(一社)JET経営研究所
佐藤 新 コンサルタント

内容：午前中は農林中金の戸田部長を講師として、過去の組合系統における不適正事案の発生状況や未然防止等のコンプライアンス全般について研修を行なった。午後は、JET経営研究所の佐藤氏から、森林組合の監事制度や、実施すべき監事監査について講演していただいた。



SNSを活用した情報発信研修

開催日：令和3年11月11日(木)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合中堅者

講師：キャリア教育プラザ株式会社
柴田 健 代表取締役

内容：HPやSNSを活用した情報発信や広告宣伝を行っている組合もあるが、活用方法については、組合間で差があるのが現状である。
このためSNSの利用方法とその裏に潜む危険性を理解し、正しい活用方法と情報発信方法を取得する方法を学習した。



森林組合役員研修

開催日：令和3年11月18日(木)

開催場所：グランメッセ熊本 2F 会議室

対象者：森林組合役員

講師：午前の部：農林中央金庫福岡支店
戸田 桂一郎 部長
午後の部：赤堀 楠 雄 林材ライター

内容：午前中は農林中金の戸田部長を講師として、過去の組合系統における不適正事案の発生状況や未然防止等のコンプライアンス全般について研修を行なった。また、午後からは林材ライターの赤堀氏から全国各地で取材した幅広い取組事例を紹介しつつ「林業・木材産業等のこれからの展望について」と題し講演していただいた。





全国森林組合大会

— 新たな系統運動方針採択 —

全森連主催の第29回JForest全国森林組合大会が、10月28日ホテルメルパルク東京で開催され、新型コロナウイルス感染防止の観点から参加人数を制限した大会となり、オンラインによる配信も行われた。(本県はオンラインによる参加)

主催者挨拶として、中崎和久代表理事会長が第29回大会は新森林組合系統運動方針を決議する大事な大会だとした上で、SDGsや脱炭素社会の実現に貢献するとともに、木材の利用推進、適切な森林管理を進めるには森林組合の果たす役割が大きいと強調。特に今大会では10年後の系統のあり方を示す新ビジョンを示して人材の育成確保や木材販売力の強化、労働安全対策などに取り組むことを要請し、森林組合の総力を結集するよう訴えた。

引き続き、来賓として農林水産大臣政務官の宮崎雅夫参議院議員(熊本県林業政治連盟推薦議員)から、これからの林業の成長産業化の実現や政府方針として打ち出したカーボンニュートラル2050を確かなものにしていく上で、系統組織である森林組合の事業展開が欠かせないと激励し、これから新運動方針での一層の躍進に期待が寄せられた。

大会では、新森林組合系統運動方針「JForest



ビジョン2030～地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けて～」が採択され、森林組合系統を挙げて持続可能な林業経営を通じ、
1. 組合員サービスの向上、2. 働く人の所得向上・就業環境改善、3. 事業拡大・効率化による経営の安定、以上3つの課題に取り組む方針を決定した。

今後、各森林組合が10年後の夢・目指す姿をイメージして「JForest〇〇森林組合ビジョン2030」を策定し、組織決定することになる。

大会決議

1. 主伐後の再生林の確実な実施を通じた森林資源の循環利用の推進と林業経営確立のための取組強化、国土保全等森林の公益的機能の発揮に必要な森林整備予算の大幅な拡充
2. 技能検定制度創設等労働安全対策推進や就業環境改善とともに「緑の雇用」事業、森林施業プランナー育成対策事業等による人材の確保・育成
3. 国産材の新たな需要を創出するとともに都市の木造化や輸出推進等による木材需要の拡大

[全国森林組合連合会会長表彰] — 栄えある表彰者 —

大会では表彰行事が行われ、組合系統の発展に功績のあった方々が表彰された。
県内の表彰者は次のとおり。

◇ 優良組合表彰

上球磨森林組合

◇ 功労者表彰(組合役員)

「水俣芦北森林組合」 窪 一、山口 清志

◇ 功労者表彰(組合職員)

「菊池森林組合」 松永 謙一

「阿蘇森林組合」 富永 安弘

「くま中央森林組合」 横谷 憲俊、長田 良天

「上球磨森林組合」 湯山 徳雄、田中 祐樹

「球磨村森林組合」 蔀 文博、大坂間 尋基、橋詰 知幸、松野 三千夫、淋 健一

横井 裕次、松野 ゆかり

「天草地域森林組合」 岩崎 司

◇ 功労者表彰(現場技能者)

「菊池森林組合」 竹下 修平

「水俣芦北森林組合」 廣畑 保幸

「球磨村森林組合」 岡 岩視、水篠 敏男、岡 和弘、橋本 則之、水篠 章男

「天草地域森林組合」 岩崎 智也、濱崎 大吾、嶽下 一親、土手 稔

◇ 感謝表彰(退職者)

「くま中央森林組合」 北村 昭人、山下 和男

「球磨村森林組合」 蔀 初美、水篠 一美

令和3年度

熊本県林業施策勉強会の開催および国への要望活動

とき：令和3年12月1日(水)～2日(木) ところ：東京都千代田区(林野庁ほか)



勉強会の風景

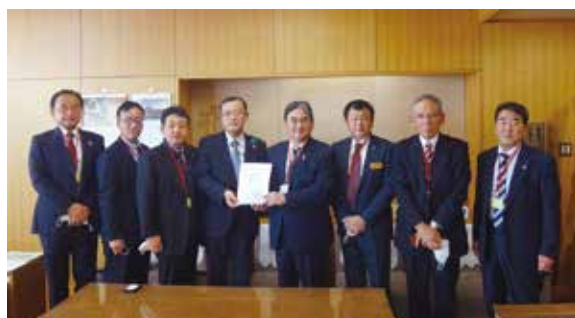
熊本県林業政治連盟(以下、林政連)の主催による、「令和3年度熊本県林業施策勉強会」が東京都千代田区の参議院会館で行われた。

勉強会には、林政連の推薦国会議員及び森林組合長(林政連会員)が参加し、林野庁幹部から「省力・低コスト再造林について」、「新しい林業について」の説明を受け、質疑応答が行われた。

また、翌日には令和4年度の政府予算等に関する提案・要望書を、林野庁の天羽(あもう)長官へ手交し、予算概算要求の満額獲得に向けての要請を行った。



本県選出の金子総務大臣へ要望書手交



林野庁長官へ要望書手交

新組合長紹介



小国町森林組合
代表理事組合長
北里 栄敏
ひで とし

昨年7月に時松組合長の勇退により、理事会の承認において選任されました。昨年はウッドショックによる木材価格の高騰、原油高によるコストの上昇など林業のみならず多くの産業に影響がありました。

当組合の業務改革の試みとしましては、IT化による業務の効率化、ジェンダーフリーのための環境整備、小国スギを活かした新たな商品開発を目標とし、木材の安定供給に努めます。

今後ともよろしく願いいたします。

熊本県下森林組合原木市況

(令和3年12月)

スギ販売市況

長さ	末口径	直材 単価(円)	曲り材 単価(円)
3 m	16~18cm	20,000	14,000
4 m	10~13cm	11,500	10,000
4 m	14~22cm	16,000	11,500
4 m	24~28cm	16,500	13,000
6 m	18~22cm	26,500	23,500

ヒノキ販売市況

長さ	末口径	直材 単価(円)	曲り材 単価(円)
3 m	16~18cm	23,000	16,000
4 m	10~13cm	12,000	11,000
4 m	14~22cm	28,500	18,000
4 m	24~28cm	25,500	20,000
6 m	18~22cm	33,000	32,000

森林保険のご案内

うちの森林に限って... と思っていないですか?



8つの災害により契約森林が損害を受けたときに、保険金が支払われます。

大切な森林を異常気象から守る強い味方「森林国営保険」
あなたの森林が偶然的な災害にあったとき、契約内容に従い損害をてん補する制度です。

災害の種類 (8つの災害)

- 【水害】 豪雨、洪水による埋没、流失等を生じたもの
- 【干害】 乾燥による災害で枯死したもの
- 【風害】 台風等暴風による損害で、幹折れ、根返り等を生じたもの
- 【凍害】 凍結・寒風などにより枯死したもの
- 【火災】 火災により損害が生じたもの
- 【潮害】 潮風・潮水浸水などにより枯死したもの
- 【雪害】 積雪・雨水等により幹折れ、根返り等の損害を生じたもの
- 【噴火災】 火山噴火に伴う災害で焼損、埋没等が生じたもの

お申し込みは...お近くの森林組合、熊本県森林組合連合会の窓口まで!!



熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3番35号
TEL 096-285-8688

80th anniversary

熊本県森林組合連合会は 設立80年を迎えました。

熊本県森林組合連合会は、昨年設立80周年を迎えることができました。

これも、林野庁、熊本県、全国森林組合連合会をはじめ、関係各森林組合等の関係者のご支援の賜物と感謝申し上げます。

森林・林業を取り巻く状況は、相変わらず厳しい状況にあるものの、地球温暖化防止に向け、二酸化炭素吸収源対策としての森林整備や、炭素貯蔵につながる木材利用が求められるなどフォローの風を感じつつあります。

今後とも、このような流れを好循環とするため、会員森林組合と連携して共に歩みを進めて参ります。

歴代会長



初代
北里雄平
(昭和16年～20年)



2代
深水吉毅
(昭和21年～22年)



3代
山野万平
(昭和23年～29年)



4代
犬童俊一
(昭和30年～56年)



5代
北里達之助
(昭和57年～平成11年)



6代
松村昭
(平成12年～22年)

各森林組合紹介

玉名森林組合

所在地	〒861-0906 玉名郡和水町西吉地2764-2 TEL 0968-34-2052
設立年月日	昭和63年10月1日
代表理事組合長	西島文郎
役職員数	理事 10名 監事 2名 職員 12名



概要	組合員数	1,404名	組合員所有面積	4,874 ha
	出資金	33,373,000円	事業総取扱高	98,829,000円

鹿本森林組合

所在地	〒861-0554 山鹿市大字城3599 TEL 0968-42-1337
設立年月日	平成2年4月2日
代表理事組合長	平井光臣
役職員数	理事 10名 監事 3名 職員 7名



概要	組合員数	2,063名	組合員所有面積	12,299 ha
	出資金	172,614,000円	事業総取扱高	441,787,000円

菊池森林組合

所在地	〒869-1206 菊池市旭志伊坂524-1 TEL 0968-37-3500
設立年月日	昭和52年10月1日
代表理事組合長	源川貞夫
役職員数	理事 13名 監事 4名 職員 24名



概要	組合員数	1,830名	組合員所有面積	10,059 ha
	出資金	100,424,000円	事業総取扱高	601,449,000円

阿蘇森林組合

所在地	〒869-2224 阿蘇市蔵原885-1 TEL 0967-34-0335
設立年月日	平成13年6月11日
代表理事組合長	河津宗範
役職員数	理事 15名 監事 4名 職員 52名



概要	組合員数	5,751名	組合員所有面積	54,328 ha
	出資金	345,616,000円	事業総取扱高	1,419,495,000円

小国町森林組合

所在地	〒869-2501 阿蘇郡小国町宮原1802-1 TEL 0967-46-2411
設立年月日	昭和26年12月27日
代表理事組合長	北里 栄 敏
役職員数	理事 7名 監事 2名 職員 34名



概要	組合員数	710名	組合員所有面積	5,668 ha
	出資金	51,449,000円	事業総取扱高	428,417,000円

緑川森林組合

所在地	〒861-3512 上益城郡山都町下馬尾315 TEL 0967-72-0154
設立年月日	平成12年12月22日
代表理事組合長	坂田 鉄太郎
役職員数	理事 12名 監事 3名 職員 21名



宇城事業所

概要	組合員数	6,260名	組合員所有面積	32,521 ha
	出資金	213,354,000円	事業総取扱高	424,446,000円

八代森林組合

所在地	〒869-4403 八代市泉町下岳101 TEL 0965-67-2231
設立年月日	平成14年7月18日
代表理事組合長	西坂 栄 樹
役職員数	理事 14名 監事 3名 職員 19名



概要	組合員数	3,098名	組合員所有面積	27,865 ha
	出資金	183,154,000円	事業総取扱高	418,604,000円

水俣芦北森林組合

所在地	〒867-0001 水俣市小津奈木473-1 TEL 0966-62-2014
設立年月日	平成14年6月6日
代表理事組合長	桑畑 達 美
役職員数	理事 14名 監事 3名 職員 11名



概要	組合員数	3,960名	組合員所有面積	24,671 ha
	出資金	145,583,000円	事業総取扱高	496,717,000円

くま中央森林組合

所在地	〒868-0044 人吉市東間下町3333-1 TEL 0966-24-3729
設立年月日	平成26年10月1日
代表理事組合長	宮原俊彦
役職員数	理事 11名 監事 3名 職員 15名



概要	組合員数	1,727名	組合員所有面積	24,158ha
	出資金	93,802,000円	事業総取扱高	697,373,000円

多良木町森林組合

所在地	〒868-0501 球磨郡多良木町大字多良木837-4 TEL 0966-42-2122
設立年月日	昭和35年3月22日
代表理事組合長	味岡和國
役職員数	理事 10名 監事 3名 職員 29名



概要	組合員数	514名	組合員所有面積	6,561ha
	出資金	68,032,000円	事業総取扱高	587,021,000円

上球磨森林組合

所在地	〒868-0701 球磨郡水上村大字岩野160 TEL 0966-44-0344
設立年月日	昭和57年4月1日
代表理事組合長	廣瀬親吾
役職員数	理事 11名 監事 3名 職員 89名



概要	組合員数	652名	組合員所有面積	8,018ha
	出資金	97,945,000円	事業総取扱高	1,512,145,000円

相良村森林組合

所在地	〒868-0101 球磨郡相良村大字四浦東2081-1 TEL 0966-36-0111
設立年月日	昭和32年8月19日
代表理事組合長	堀川泰注
役職員数	理事 8名 監事 2名 職員 5名



概要	組合員数	395名	組合員所有面積	4,859ha
	出資金	28,860,000円	事業総取扱高	144,879,000円

五木村森林組合

所在地	〒868-0201 球磨郡五木村甲2672-33 TEL 0966-37-2314
設立年月日	昭和27年2月26日
代表理事組合長	平野安美
役職員数	理事 8名 監事 2名 職員 15名



概要	組合員数	373名	組合員所有面積	16,265 ha
	出資金	56,156,000円	事業総取扱高	313,041,000円

球磨村森林組合

所在地	〒869-6204 球磨郡球磨村大字神瀬甲1130 TEL 0966-34-0211
設立年月日	昭和30年11月4日
代表理事組合長	大岩精一
役職員数	理事 9名 監事 3名 職員 41名



概要	組合員数	924名	組合員所有面積	15,077 ha
	出資金	63,270,000円	事業総取扱高	953,237,000円

天草地域森林組合

所在地	〒863-0044 天草市楠浦町9946-1 TEL 0969-22-2646
設立年月日	平成14年6月3日
代表理事組合長	池田和貴
役職員数	理事 12名 監事 4名 職員 30名



概要	組合員数	6,413名	組合員所有面積	40,482 ha
	出資金	337,406,000円	事業総取扱高	886,150,000円

熊本県森林組合連合会

旧
林
業
会
館平成
31
年
1
月
4
日
業
務
開
始

■ 80年の軌跡

※ 黒字は県森連及び会員組合の事柄を記載。

昭和16年 (1941)	熊本県森林組合連合会設立認可(会員33組合)、初代会長に北里雄平氏就任
昭和20年 (1945)	熊本市が大空襲を受け県森連事務所焼失(立田口駅前の個人宅に事務所間借り)
昭和21年 (1946)	県森連事務所を上通町に移転、県森連第2代会長に深水吉毅氏就任
昭和22年 (1947)	県森連事務所を熊本市春竹町に移転
昭和23年 (1948)	前事務所(現熊本市中央区新屋敷)の土地取得、県森連第3代会長に山野万平氏就任
昭和24年 (1949)	県森連事務所を現熊本市中央区新屋敷に新築移転
昭和26年 (1951)	現小国町森林組合設立【森林法、同施行規則公布】
昭和27年 (1952)	県森連組織変更登記、現五木村森林組合設立【全国単位森林組合改組完了(熊本県115組合)】
昭和30年 (1955)	県森連第4代会長に犬童俊一氏就任、現球磨村森林組合設立
昭和31年 (1956)	南小国村森林組合木材共販所開設(県下第1号)
昭和32年 (1957)	現相良村森林組合設立、水源森林組合(現菊池市)木材共販所開設(県下第2号)
昭和33年 (1958)	小国町森林組合木材共販所開設(県下第3号)【第1次森林組合振興対策運動開始】
昭和34年 (1959)	県森連熊本木材共販所開設(現熊本市田迎町)
昭和35年 (1960)	県森連芦北地区木材共販所開設、現多良木町森林組合設立、森林組合だより創刊
昭和36年 (1961)	熊本県森林組合改組10周年記念大会
昭和39年 (1964)	【林業基本法公布】、【森林組合拡充強化運動開始】
昭和40年 (1965)	県森連高森木材共販所開設(阿蘇郡高森町)
昭和41年 (1966)	県森連芦北地区木材共販所閉鎖
昭和42年 (1967)	県森連八代木材共販所開設(八代市)、第1期合併推進(S38~S42)会員数69組合
昭和43年 (1968)	前熊本県林業会館落成
昭和44年 (1969)	【森林組合協業体制確立運動開始】
昭和46年 (1971)	県森連チップ工場開設(八代市)、熊本県森林組合改組20周年記念大会
昭和47年 (1972)	広域協業推進期間(S43~S47)会員数65組合
昭和48年 (1973)	県森連機構改革(管理、指導、販売、購買)4課に拡充
昭和50年 (1975)	球磨村森林組合「球泉洞」オープン【森林組合新生10カ年運動開始】
昭和52年 (1977)	県森連熊本木材共販所用地取得(菊陽町)、現菊池森林組合設立、第2期合併推進(S48~S52)会員数60組合
昭和53年 (1978)	県森連熊本木材共販所移転(菊陽町)【森林組合法公布】
昭和54年 (1979)	県森連森林土木課新設(測量業登録)
昭和56年 (1981)	熊本県林業危機突破大会【林業退職金共済制度発足】

昭和57年 (1982)	県森連第5代会長に北里達之助氏就任、県森連チップ工場閉鎖(八代市)、現上球磨森林組合設立、第3期合併推進(S53~S57)会員数53組合
昭和58年 (1983)	県森連高森木材共販所閉鎖(組合へ移管)
昭和59年 (1984)	県森連球磨木材共販所(現球磨事業所)開設【森林組合活動強化対策事業開始】
昭和60年 (1985)	【森林組合体制刷新運動(5カ年)開始】、【国際森林年】
昭和63年 (1988)	森林組合法制定10周年記念大会、現玉名森林組合設立 【熊本県森林組合広域合併推進(第4期)】
平成2年 (1990)	現鹿本森林組合設立【森林と人いきいき運動(5カ年)開始】
平成3年 (1991)	熊本県森林組合連合会設立50周年大会、第4期合併推進(S63~H3)会員数33組合
平成4年 (1992)	【熊本県森林組合広域合併推進(第5期)】
平成7年 (1995)	【第2次森林と人いきいき運動(5カ年)開始】
平成8年 (1996)	県森連八代木材共販所閉鎖(八代市)、県森連大阪営業所開設(大阪府八尾市)、 県森連東京営業所(東京都江東区)・東京展示場(千葉県浦安市)開設、 第5期合併推進(H4~H8)会員数31組合
平成9年 (1997)	県森連八代事業所開設(木材乾燥施設)【熊本県森林組合広域合併推進(第6期)】
平成10年 (1998)	県森連森林調査課新設
平成12年 (2000)	県森連第6代会長に松村昭氏就任、現緑川森林組合設立 【森林組合活動21世紀ビジョン(5カ年)開始】
平成13年 (2001)	県森連東京営業所・東京展示場・大阪営業所閉鎖、現阿蘇森林組合設立、 第6期合併推進(H9~H13)会員数21組合【森林・林業基本法制定】
平成14年 (2002)	県森連建設コンサルタント業登録、県森連熊本木材共販所閉鎖(菊陽町)、 現八代森林組合設立、現水俣芦北森林組合設立、現天草地域森林組合設立
平成15年 (2003)	県森連事業年度期間変更(毎年7月1日~翌年6月30日)【森林組合改革プラン】
平成18年 (2006)	県森連モデル住宅販売【森林組合活動21世紀ビジョン2ndステージ(5カ年)開始】
平成19年 (2007)	県森連球磨木材共販所閉鎖【協同組合くまもと製材設立総会】
平成21年 (2009)	県森連SGEC森林認証取得【JForestロゴマーク策定】
平成23年 (2011)	県森連第7代会長に前川収氏就任、県森連創立70周年記念植樹 【国際森林年】、【森林組合活動21世紀ビジョン3rdステージ(5カ年)開始】
平成25年 (2013)	【くまもと製材株式会社へ組織改編】
平成26年 (2014)	現くま中央森林組合設立
平成27年 (2015)	県森連中期経営計画(2015~19年度)策定
平成28年 (2016)	熊本地震により前熊本県林業会館全壊(9月30日解体完了) 【JForest森林・林業・山村未来創造運動(5カ年)開始】
平成29年 (2017)	現事務所(熊本市東区戸島)土地取得
平成30年 (2018)	県森連中期経営計画(2018~20年度)修正版策定
平成31年 (2019)	現熊本県林業会館 業務開始(1月4日)
令和3年 (2021)	県森連中期経営計画(2021~25年度)策定、森林組合系統運動方針 JForest熊本県ビジョン 2030策定【JForestビジョン2030(10カ年)開始】

経営状況推移

区分	年度	昭和17年 (1942)	昭和21年 (1946)	昭和26年 (1951)	昭和31年 (1956)	昭和36年 (1961)	昭和41年 (1966)	昭和46年 (1971)	昭和51年 (1976)	昭和56年 (1981)
正会員数		108	120	126	108	89	71	68	63	55
出資口数		450	758	5,743	6,035	7,135	2,414	3,314	4,914	7,214
出資総額(千円)		225	379	2,872	9,053	10,134	24,140	33,140	49,140	72,140
理事数		7	17	18	11	11	11	8	13	13
監事数		3	3	3	3	3	3	3	3	3
職員数		21			18	14	14	21	20	29

(単位：千円)

事業総収益	9	590	7,137	25,922	56,371	82,897	326,866	622,075	1,018,820
内訳：指導					16	0	3,223	5,099	6,243
内訳：販売					8,574	19,357	175,984	327,452	269,246
内訳：加工					—	—	—	—	—
内訳：森林整備					47,781	63,540	147,659	289,524	743,331
事業総費用	10			18,983	42,488	56,217	267,058	529,919	869,193
事業総利益	-1			6,939	13,883	26,679	59,808	92,155	149,627
事業管理費	31	587	6,562	8,451	13,505	23,784	58,650	90,426	164,098
事業利益	-32			-1,512	378	2,895	1,158	1,728	14,471
事業外損益	4			514	382	-264	-9,493	2,054	969
特別損益	0			0	52	0	6,798	615	7,130
差引損益	-28	3	-575	-998	812	1,781	-1,537	290	6,370

経営状況推移

区分	年度	昭和61年 (1986)	平成3年 (1991)	平成8年 (1996)	平成13年 (2001)	平成18年 (2006)	平成23年 (2011)	平成28年 (2016)	令和2年 (2020)
正会員数		54	33	31	21	17	17	15	15
出資口数		9,321	10,950	13,204	15,208	15,404	15,404	15,404	15,404
出資総額(千円)		93,210	109,500	132,040	152,080	154,040	154,040	154,040	154,040
理事数		12	13	13	11	8	8	8	10
監事数		3	3	3	3	3	3	3	3
職員数		35	32	36	36	34	32	36	39
(単位：千円)									
事業総収益		1,061,929	1,043,316	1,205,691	1,303,838	1,101,695	2,055,271	1,646,215	1,469,553
内訳：指導		10,539	8,086	21,990	9,677	14,077	36,699	26,287	26,879
内訳：販売		326,374	414,332	325,048	199,782	328,253	1,167,556	829,240	591,252
内訳：加工		—	—	148,081	510,010	309,934	172,794	210,461	185,456
内訳：森林整備		725,016	620,898	710,572	584,369	449,428	678,220	580,225	665,965
事業総費用		841,981	780,586	816,021	982,360	824,933	1,742,913	1,309,354	1,098,426
事業総利益		219,948	262,729	389,669	321,478	276,761	312,358	336,861	371,126
事業管理費		210,463	257,754	323,463	315,303	285,965	293,001	329,766	342,595
事業利益		9,484	4,975	66,206	6,174	−9,203	19,356	7,094	28,530
事業外損益		−5,157	8,070	8,092	10,793	4,656	38,237	33,964	35,367
特別損益		9,831	−982	−272	−147	−6,881	1,969	35,463	1,096
差引損益		14,158	12,062	74,025	16,821	−11,428	59,564	76,522	64,994

80th anniversary

地域森林の適切な利用・保全と林業経営の
更なる発展に向けて
役職員一同頑張っています



熊本県森林組合連合会 (34名)

〒861-8041
熊本市東区戸島2丁目3番35号



八代事業所 (9名)

〒866-0033
八代市港町262-18



球磨事業所 (9名)

〒868-0442
球磨郡あさぎり町深田東19-1